

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年3月17日

報告事項件名	頁
(1) 水防体制再構築の検討状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 災害情報システム再構築業務委託プロポーザルによる 提案書特定結果について・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(3) 令和2年度地区防災計画の進捗について・・・・・・・・・・・・	8


(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年3月17日

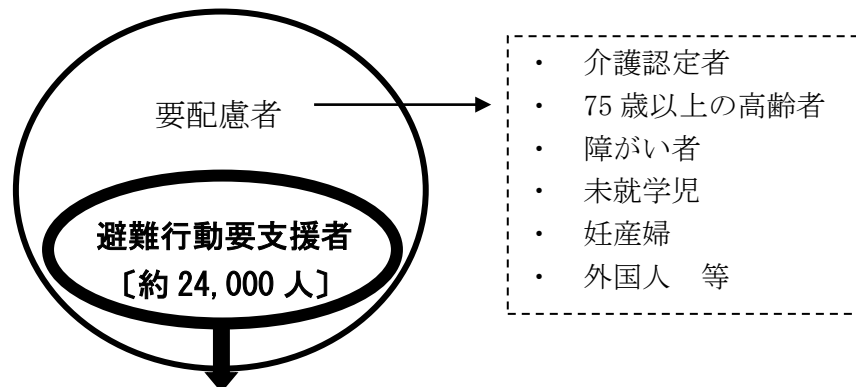
件名	水防体制再構築の検討状況について			
所管部課名	総合防災対策室災害対策課、防災力強化担当課、調整担当課 広報室報道広報課 福祉部福祉管理課			
内容	水防体制再構築本部における、令和2年度末時点での部会ごとの主な検討状況について、以下のとおり報告する。			
	1 分散避難推進部会			
		検討項目	状況	備考
	1	在宅避難・縁故等避難の推進	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報特集掲載(8月10日号) ・ 分散避難リーフレットを令和2年10月に作成し啓発を開始
	2	新たな避難先の確保 〔民間施設・ホテル等〕	完了 (令和2年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル：3件 ・ 民間施設：4件 ・ 学校、福祉施設：6件 ・ 都営住宅住戸：11団地16戸 ・ 区営住宅住戸：9団地19戸
			継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな避難先の確保に向けて引き続き働きかけを行う。
3	区立施設以外への浸水深表示の設置	完了 (令和2年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電柱：122箇所 ・ 北千住駅西口集中照明灯 ・ 設置要望があった民間施設 私立学校1箇所 福祉施設1箇所 民間集合住宅1棟 	
		継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電柱：約200箇所(令和3年度) 	
4	手順書の整備 【第一次避難所用】 【第二次避難所用】 【その他施設用】	完了	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次避難所用、その他施設用の手順書定型書式を作成 ・ 施設ごとの居室利用計画や受付レイアウト等を検討し手順書に掲載 	
	その他施設 →地域学習センターや民間施設など避難所運営会議や備蓄物品が無い施設	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次避難所用の手順書定型書式を作成 ・ 手順書に基づく顔合わせ会議や訓練を実施し随時更新 	

2 要支援者対策部会

	検討項目	状況	備考
1	本部会で対象とする要支援者の定義	完了	<ul style="list-style-type: none"> 対象者を避難行動要支援者とした。 (※ 次頁図1参照)
2	要支援者の実態把握 〔災害時安否確認申出書の発送〕	完了	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年11月に発送 発送件数:約20,000通 ※ 施設入所の方や長期間入院中の方等を除く。
3	要支援者の実態把握 〔災害時安否確認申出書の集計・分析〕	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 返送件数:8,925通 (令和3年2月26日時点)
4	要支援者の類型化 (※ 次頁表1参照)	完了	<ul style="list-style-type: none"> 以下の項目を基に類型化 →自宅浸水リスクの有無 →自力避難の可否 →支援者の有無 →介護の度合い
5	優先区分の設定 (※ 次頁表1参照)	完了	<ul style="list-style-type: none"> 優先区分を5段階で設定 <p>優先度 高  低</p> <p>区分 A B C D E</p>
6	支援のモデルケースを設定	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> 優先区分Aから8人をモデルケースとして支援計画を作成 その後、真に支援が必要な優先区分A、Bに広げていく。
7	個別的な支援計画のフォーマット作成	作成中	<ul style="list-style-type: none"> 上記6に繋げていくため、他自治体の事例等を参考にしながら、足立区独自の支援計画フォーマットを作成
8	具体的な支援方法	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供の強化 避難支援方法(移動手段、災害協定先との連携等)の検討
9	避難先となる第二次避難所の検討	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> 開設する第二次避難所の検討 施設ごとの使用する居室計画及び受入れ可能人数の検討
10	要配慮者利用施設における避難確保計画作成支援	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> 各施設へ作成支援書類(避難確保計画のひな型等)を発送

※ 図1 避難行動要支援者

要配慮者のうち災害時に自分一人では避難できず誰かしらの支援を必要とする者



	支援区分	備考
1	要介護 3～5	
2	身体障害者手帳 1～2 級	
3	身体障害者手帳 3 級	福祉タクシー券等受給
4	愛の手帳 1～2 級	知的障がい者
5	障害支援区分 4～6	区市町村で認定

※ 表1 優先区分の設定

(対象者数は令和3年2月26日時点)

	類型	介護・障がい度合	対象者数
A	<ul style="list-style-type: none"> 自宅が浸水 自力で歩いて避難先に移動できない 避難する際に支援者がいない 介護、障がい度合が右記に該当 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護度 4～5 障害支援区分 5～6 愛の手帳 1～2 度 	87
B	<ul style="list-style-type: none"> 自宅が浸水 自力で歩いて避難先に移動できない 避難する際に支援者がいない 介護、障がい度合が右記に該当 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護度 3 身障手帳 1～2 又は 3 障害支援区分 4 	498
C	<ul style="list-style-type: none"> 自宅が浸水 自力で歩いて避難先に移動できない 避難する際に支援者がいる 		2,495
D	<ul style="list-style-type: none"> 自宅が浸水 自力で歩いて避難先へ移動することができる場合 		1,674
E	<ul style="list-style-type: none"> 自宅が浸水しない 浸水するが自宅で避難できる場所がある場合 		4,171

3 情報発信部会

	検討項目	状況	備考
1	情報発信タイムライン	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> いつ、誰に、何を、どのように発信するかを庁内タイムライン作成に合わせて整理
2	防災行政無線でのサイレン音の運用	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> 避難情報を放送する際、従来のチャイム音ではなくサイレン音の活用を検討
3	防災無線テレホン案内の同時通話回線の増設	完了	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年6月に増設完了
4	あだち安心電話の情報発信〔FAX〕の拡充	完了	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月に導入済み 聴覚障がいのある方に向けてA-メールFAX機能を活用
5	LINE公式アカウントの導入	完了	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年9月に導入済み 登録件数：19,145件 (令和3年3月4日現在)

4 タイムライン部会

	検討項目	状況	備考
1	水害時庁内タイムライン 〔対象河川：荒川〕	完了 (継続検討)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年8月に暫定版作成済み 台風が中心が最も足立区に接近する時間を0時間と設定 -96時間(概ね4日前)からの防災行動を記載
2	水害時庁内タイムライン 〔対象河川：その他河川〕	継続検討	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度検討着手 令和3年台風シーズンまでに暫定版を策定
3	コミュニティタイムライン 〔小台・宮城地区〕 江南連絡協議会の6町会・自治会	完了 (継続支援)	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップを計3回実施済み 地区全世帯アンケート実施済み 令和2年9月に暫定版作成 周知用リーフレットを作成し当該地区内に全戸配付
4	コミュニティタイムライン 〔本木・関原地区〕 第七地区町会連合会の8町会	継続支援	<ul style="list-style-type: none"> 第1回ワークショップ(令和2年12月)実施済み 第2回、第3回を順次実施 令和3年台風シーズンまでに暫定版を策定

問題点
今後の方針

- 課題解決に向けて、各部会を中心に検討を深めていく。
- 区民への周知が必要な事項については、出水期や台風シーズンなど時期を捉えて適宜広報していく。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年3月17日

件名	災害情報システム再構築業務委託プロポーザルによる提案書特定結果について
所管部課	総合防災対策室災害対策課
内容	<p>災害情報システム再構築業務委託について、公募型プロポーザルを実施したため、提案書特定結果について、以下のとおり報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 選定事業者 事業者名 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 住所 東京都港区海岸一丁目2番3号 2 委託契約期間 契約確定日から令和4年3月31日 3 提案価格 79,200,000円(税込) 4 提案概要 (1) 地図による被害状況表示、時系列の指示連絡表示等「区内の状況」「今、やるべきこと」が一目でわかるシステム画面 (2) テンプレートの利用や、簡易な住所検索等、素早く正確に被害情報や避難所等の情報登録が可能 (3) アプリ連携、高密度震度情報、建物・液状化の被害予測機能 5 選定経過 (1) 令和2年11月17日 第1回選定委員会 公募内容を確認し、選定基準を決定。 (2) 令和3年1月8日 第2回選定委員会 書類審査。提案書提出者を審査し、選定。 (参加表明4者、選定4者) (3) 令和3年2月22日 第3回選定委員会 プレゼンテーションと質疑応答。提案書を審査し、特定。 (審査2者、選定1者) ※ 提案書提出者選定後2者が辞退 審査結果は、別紙のとおり。 6 選定委員について 外部委員3名(学識経験者)、区課長級職員2名、計5名
問題点・今後の方針	令和4年4月本運用開始に向け、再構築を進める。

足立区災害情報システム再構築業務委託 提案書特定結果

対象業務名 足立区災害情報システム再構築業務委託				配点	業者名	
項番	評価項目				第一順位	第二順位
	分類	指 標		東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社	A者	
1	業務の理解度 50点	提案依頼の内容に対する網羅性	提案書の記載項目 等	50	46	42
2	提案内容の的確性 350点	プロジェクト推進体制の妥当性	開発人員体制 等	50	35	40
3		開発機の機能が区の要求を充足しているか	業務要件適合性、成果物 等	200	179	143
4		教育、保守、セキュリティに関する提案の妥当性	教育、保守、セキュリティ 等	100	74	66
5	コスト 75点	初期導入費用やランニング費用に見合った提案となっているか	初期導入やランニングにかかるコストと提案との適正性、整合性	75	46	48
6	意欲・熱意・理解・協調性(プレゼンテーション) 25点	提案事業者・担当者に意欲、熱意理解、協調性があるか	意欲、熱意、コミュニケーション力	25	24	20
合 計				500	404	359

項番	評価項目			加 点	得 点	
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	25	0	0
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)	15	0	0
総 計					404	359

順 位				1	2

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和3年3月17日

件名	令和2年度地区防災計画の進捗について																																																						
所管部課名	総合防災対策室災害対策課、調整担当課																																																						
内容	<p>今年度進めている、地区防災計画の新規策定及び既計画（平成29年度策定の10団体）の見直しに伴い実施するワークショップ等の進捗について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 新規策定（震災対策を中心とした計画） 火災危険や建物の倒壊、災害時の活動困難など地域危険度が高い地域の町会・自治会（6団体） ①・②・③：ワークショップ実施回</p> <p style="text-align: right;">令和3年3月9日現在</p>																																																						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>町会・自治会名</th> <th>ワークショップ日程等</th> <th>参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">千住仲町会 (危険度：4)</td> <td>①： 9月25日（金）</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>②： 11月 7日（土）</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">興野町会 (危険度：5)</td> <td>①： 11月12日（木）</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>②： 12月18日（金）</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">八千代自治会 (危険度：4)</td> <td>①： 9月23日（水）</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>②： 11月 8日（日）</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3">都営梅田三丁目 アパート自治会 (危険度：4)</td> <td>①： 11月7日（土）</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>②： 1月9日（土）</td> <td>緊急事態宣言発出により書面開催</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">興野北町会 (危険度：4)</td> <td>①： 9月13日（土）</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>②： 1月23日（土）</td> <td>緊急事態宣言発出により書面開催</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6</td> <td rowspan="3">西新井15部町会 (危険度：4)</td> <td>①： 10月 3日（土）</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>②： 1月24日（日）</td> <td>緊急事態宣言発出により書面開催</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止</td> </tr> </tbody> </table>			町会・自治会名	ワークショップ日程等	参加人数等	1	千住仲町会 (危険度：4)	①： 9月25日（金）	18名	②： 11月 7日（土）	11名	③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止		2	興野町会 (危険度：5)	①： 11月12日（木）	29名	②： 12月18日（金）	30名	③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止		3	八千代自治会 (危険度：4)	①： 9月23日（水）	7名	②： 11月 8日（日）	7名	③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止		4	都営梅田三丁目 アパート自治会 (危険度：4)	①： 11月7日（土）	12名	②： 1月9日（土）	緊急事態宣言発出により書面開催	③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止		5	興野北町会 (危険度：4)	①： 9月13日（土）	21名	②： 1月23日（土）	緊急事態宣言発出により書面開催	③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止		6	西新井15部町会 (危険度：4)	①： 10月 3日（土）	19名	②： 1月24日（日）	緊急事態宣言発出により書面開催	③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止	
		町会・自治会名	ワークショップ日程等	参加人数等																																																			
	1	千住仲町会 (危険度：4)	①： 9月25日（金）	18名																																																			
			②： 11月 7日（土）	11名																																																			
			③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止																																																				
	2	興野町会 (危険度：5)	①： 11月12日（木）	29名																																																			
			②： 12月18日（金）	30名																																																			
			③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止																																																				
	3	八千代自治会 (危険度：4)	①： 9月23日（水）	7名																																																			
②： 11月 8日（日）			7名																																																				
③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止																																																							
4	都営梅田三丁目 アパート自治会 (危険度：4)	①： 11月7日（土）	12名																																																				
		②： 1月9日（土）	緊急事態宣言発出により書面開催																																																				
		③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止																																																					
5	興野北町会 (危険度：4)	①： 9月13日（土）	21名																																																				
		②： 1月23日（土）	緊急事態宣言発出により書面開催																																																				
		③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止																																																					
6	西新井15部町会 (危険度：4)	①： 10月 3日（土）	19名																																																				
		②： 1月24日（日）	緊急事態宣言発出により書面開催																																																				
		③： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内実施を中止																																																					
<p>※ 年度内（令和3年3月）に実施できなかったワークショップについては、町会・自治会とも相談し、新年度以降に実施する等個別に対応していく。</p>																																																							

2 新規策定（水害対策を中心とした計画）

荒川が氾濫した際に浸水深が深く、浸水継続時間も長くなることが想定される地域の町会・自治会（6団体）

※ ワークショップはコミュニティタイムラインの検討を中心に実施

策定地区	日程	内容
【小台・宮城地区】 小台町会 宮城町会 宮城第三団地自治会 尾久橋スカイイツ自治会 ラ・セヌ小台自治会 ライオンズマンション荒川遊園 アカステージ自治会	3月～4月	住民アンケート実施
	6月27日(土)	第1回ワークショップ
	7月18日(土)	第2回ワークショップ
	9月6日(日)	第3回ワークショップ
	10月～12月	団体ごとの地区防災計画水害編に取りまとめ
	令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> 各団体へ地区防災計画を配付 防災会議委員へ書面にて中間報告

3 既計画の見直し団体（10団体）

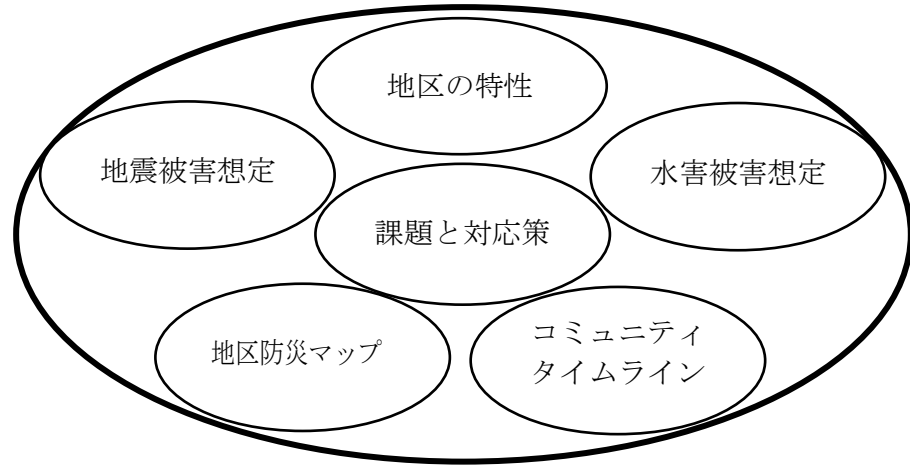
平成29年度に地区防災計画を策定した下記町会・自治会

令和3年3月9日現在

	町会・自治会名	ワークショップ日程等
1	千住中居町会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年2月～3月にワークショップを実施予定であったが緊急事態宣言により延期 平成29年度に策定した震災対策を中心とした計画に、水害対策を盛り込んだ見直しを行う。
2	千住龍田町町会	
3	柳原東町会	
4	柳原西町会	
5	中曽根町会	<ul style="list-style-type: none"> 本木・関原地区でのコミュニティタイムライン策定に伴うワークショップの内容を盛り込み、計画見直しを進めていく。
6	本木一丁目南町会	
7	大谷田東自治会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年2月にワークショップを実施予定であったが緊急事態宣言により延期 平成29年度に策定した水害対策を中心とした計画に、震災対策を盛り込んだ見直しを行う。
8	長門南部町会	
9	長門北部自治会	
10	長門西町会	

4 参考：地区防災計画の構成要素イメージ

〇〇町会・自治会地区防災計画



5 参考：地区防災計画策定の流れ

	会議等	内容・備考
1	事前説明	・ 町会・自治会長へ事前協議
2	第1回 ワークショップ	・ 概要説明及び発災時の避難行動の確認 ・ 地区特性の確認
3	第2回 ワークショップ	・ 防災視点によるまち歩き ・ 課題の取りまとめ及び対策の検討
4	第3回 ワークショップ	・ 作成した地区防災計画案の確認
5	足立区防災会議に 付議	・ 足立区防災会議に諮り承認を得る ・ 承認後、地域防災計画の一部として掲載

問題点
今後の方針

- 策定したコミュニティタイムラインに、地区特性などを補記し、各町会・自治会の地区防災計画として、足立区地域防災計画に掲載するよう進めていく。
- コミュニティタイムライン策定にあたっては、足立区総合防災行政アドバイザー及び専門知識を有する事業者とともに、区職員も参加しながら進めていく。